

第86回全国都市問題会議



第86回全国都市問題会議に
鈴木寿明蒲郡市長とともに参加しました

JA蒲郡市青年部との意見交換会



JA蒲郡市青年部との
意見交換会を開催しました

沖縄県浦添市を訪問



友好都市である
沖縄県浦添市を訪問しました
(写真は松本哲治浦添市長と)



「議員→行政」蒲郡の課題を質問！

令和6年12月定例会 一般質問YouTube



- | | |
|--|--------------------------------------|
| ● 大場康議 『農業振興について』 | ● 中野香余 『鳥獣害・野犬対策、学校の英語教育・総合的な学習について』 |
| ● 大須賀 林 『コミュニティパーク、マンホール蓋の広告、名鉄西尾蒲郡線の存続、令和7年度予算について』 | ● 千賀充能 『総代区、部活動について』 |
| ● 藤田裕喜 『新型コロナウイルス感染症の後遺症、高規格救急車、子育て・教育、トビによる被害について』 | ● 八田寿人 『ラリー三河湾について』 |
| | ● 芦刈純奈 『低年齢児、障害児の保育、隠れ教育費について』 |

※青山義明議員は議長、鈴木将浩議員は副議長のため一般質問なし

令和7年度予算要望

自由民主党蒲郡市議団は、151項目に及ぶ令和7年度予算要望を市長宛に提出いたしました。
主な重点要望事項は次の通りです。

1 全国1位のこどもファースト

- 給食費無償化の実施(未就学児・小学校・中学校)
- 0～2才児の保育無償化の実施
- こども条例の制定
- 地域総合型スポーツクラブの創設推進
- ICT教育の格差是正を目指したICT支援員拡充
- インクルーシブ教育推進のための特別支援員の増員
- 保育士の待遇改善施策の実施

2 安心して住み続けられるまちづくり

- 子供・高齢者・障害者・外国人が集い・交流できる居場所づくりの推進
- コミュニティバスの空白地への拡充および毎日運行・乗継無料化の推進
- 道路・歩道除草のまちづくり活動推進および部署横断的対応の実施
- PHRの活用推進

3 新たな価値創造を見据えた産業振興

- 更なる企業用地の確保
- 再生医療を含めたヘルスケア産業の誘致
- 漁業に関する特産品のブランド化を目指した新しい取組推進
- ほ場整備の新たな計画検討
- 100万円以上のDX推進補助金の創設

4 更なる先進的な取り組みの推進

- カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーに関する事業者への支援
- Rally三河湾の継続開催および観光誘客の具体的取組の実施
- 自治体DXの推進
- 各種ホームページの改善・活用促進

5 都市基盤・公共施設の整備促進

- 国道247号線の鹿島・中央バイパスの4車線化早期完成
- 大塚金野線、国道473号線新ルート、知柄漁港臨港道路、豊岡大塚線の要望継続
- 蒲郡港11号岸壁の3バース早期完成および貯木場埋立の推進
- 東港地区まちづくり・みらいキャンパスの着実な事業推進





自民党蒲郡市議団

蒲郡市長 すずき ひさあき 鈴木 寿明

新年のあいさつ

皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

今年度は、今まで進めてきた「シティセールス」「サーキュラーエコノミー」「ゼロカーボン」の推進を引き続き図るとともに、新たな施策として、本市の計画や施策に「健康」「幸福」の視点を盛り込み、全庁的に取り組んでいくことで、市民が幸福感を感じながら健康で住み続けられるまち「イネーブリングシティ」の形成に取り組んでおります。

今後も引き続き、市民のウェルビーイング実現のため、これらの推進を図るとともに、市民の生命を守ることを最重要課題として、市民憲章にある「ひとづくり」「いえづくり」「まちづくり」を原点に、官民一体となったワンチームで市政運営に取り組んでまいります。



衆議院議員 いまいだ そういちろう 今枝 宗一郎

新年のあいさつ

明けましておめでとうございます。

自民党蒲郡市議団の皆様におきましては、日頃より蒲郡市発展のためにご尽力頂いていること、厚く御礼申し上げます。本年も蒲郡が今よりも更に良い街になるよう、共に創って頂ければと存じます。

さて、国民目線での政治改革と党本部改革を徹底的に推し進めていくため、若手改革派として、政策活動費廃止、旧文通費の公開・使わなかった分の返納は勿論のこと、外国人による政経セミナー券購入禁止、世襲制限や国会議員 73 歳定年制や女性・若手候補の大幅増等、新陳代謝を進め、新たな自民党を創っていく覚悟です。

また、3月には名豊道路が全線開通します。暮らして良し、働いて良し、観光・移住して良しの三河を創り、定住人口に注目するのみならず、交流人口・関係人口を増やせるよう全力で努力します。

最後に、皆様の健康とご家族の弥栄を祈念申し上げます。



政調会長・副幹事長
総務委員会委員長 ふじた ひろき 藤田 裕喜

竹島周辺のトビにご注意！

竹島の周辺では、トビが人のたべものを狙って襲ってくる場合があります。クレープ、スナック菓子、おにぎり、サンドイッチなど、私も様々な被害を目撃しています。広い竹島園地に屋根を付けたり、網を張ったりするわけにもいきませんので、自分やまわりの人が注意して守っていただく、というほかありません。しかし一方で、例えば、注意喚起の看板やお知らせなどは少なく、訪れる方々に気づいていただくための工夫ができそうです。よくない話、悪い噂が広がらないようにする取り組みが必要です。



総務委員会副委員長 なかの かよ 中野 香余

堤防アート「蒲暦(がまこよみ)」

市制70周年事業の一つ、「蒲暦(がまこよみ)～30年先も愛し続けたい蒲郡」をテーマとした堤防アートプロジェクトが、12月1日に完成しました。市民会館南側マリノロード450mにわたり、二十四節気七十二候をもとに72の蒲郡の一年の風景が、東から西へ、みかんや竹島、花火等、海と山に囲まれた美しいまちが、子供から大人まで市民の手によって描かれました。その絵は、蒲郡への誇りと未来に続く希望を感じさせます。ゆっくりと歩いてご覧頂ければ、きっと笑顔になれるでしょう！



自民党蒲郡市議団

団長 おおば やすのり 大場 康議

農地利用の適正化について

昨年農業委員会から「農地利用等の適正化に関する指針」が出されました。今後、農事者の高齢化、後継者不足、遊休農地の拡大が懸念されるとあり、10年計画で農地集積・集約を図るため今年度中に地域計画を策定します。農地面積は827ヘクタールから748ヘクタールに減少するものの集積率は21%から39%に上げる目標となります。担い手の農地拡大と新規参入者拡充、農業法人設立は指針に入っており、蒲郡の農業振興の為には必ず進めなければなりません。そこで施策として、豊川市・田原市・幸田町で実績のある地元負担金を国が補助する農地中間管理機構関連農地整備事業を活用した農地整備を提案しました。市・地域・J A・県としっかりと取り組んで頂きたいと思います。



自民党蒲郡市議団

議長 あおやま よしあき 青山 義明

公共施設の入札不調に国から補助金

現在全国の公共施設建設については、人手不足による人件費の高騰や円安・世界情勢の影響による建設資材の高騰などで入札が不調に終わるケースが頻繁に発生しています。蒲郡市においても例外ではなく、学校複合施設や市民病院新棟建設も不調に終わる状況がありました。そんな中、全国市議会議長会国会対策委員会の一員として国会議員に対する要望会の中、自由民主党政調会長の小野寺五典代議士から、全国的な公共施設建設入札不調に対して政府として差額分の補助を出す話を頂きました。早速、文教委員会の中で当局に対して提案させて頂いていただきました。今後も蒲郡発展のため尽くしてゆく所存です。本年もよろしくお願いいたします。



自民党蒲郡市議団

はった ひさと 八田 寿人

三河地震から80年

三河地震は1945(昭和20)年1月13日午前3時38分マグニチュード6.8の内陸直下型地震でした。死者数は、2,300人以上。この数字は、日本の地震の死者数では7番目に多く、うち約1割の230人以上の方が形原で亡くなりました。一ヶ月前にも昭和東南海地震が発生しており、ふたつの大きな地震が立て続けにあったことになります。2025年は、このふたつの地震から80年になります。これを機に地震への備えを考えてはいかがでしょう。



自民党蒲郡市議団

せんが みつよし 千賀 充能

塩津地区コミュニティバス
いよいよスタート

約一年かけて塩津地区総代会の皆様はじめ、役員様のご努力により、塩津地区コミュニティバスが、地域公共交通会議でご承認いただき、いよいよ令和7年度10月スタート予定となりました。塩津地区の皆さんは、喉から手が出るほど望んでいたと思います。しかし、ここがゴールでは決してないと思います。

今後の展望としては、コミュニティバスに乗車しながら、地域のニーズに応じた運行ルートの見直しや、運行本数の増加など、皆さんが使いやすいように検討してゆく事が大事だと思います。これで市内7路線、いろんな角度から見聞し、より乗車しやすいコミュニティバスになりますように、皆さんの力でより良いコミュニティバスに発展させてまいりましょう。



自民党蒲郡市議団

副議長 すずき まさひろ 鈴木 将浩

地区防災計画で防災力 UP

2024年は年初の能登半島地震や、8月には台風10号の影響による土砂災害も蒲郡で発生してしまい、災害について改めて考えさせられる一年となりました。蒲郡では住民がつくる「地区防災計画」の策定が進んでいて、塩津・大塚・形原で作成済・作成中となっています。会議などに参加していると、計画策定はもちろんですが、多くの方が参加される中で、改めて自助・共助について住民みんなで考える機会にもなり、今後の動きも期待しています。とはいえ、2025年は災害の無い一年を願っています。



自民党蒲郡市議団

幹事長
経済委員会委員長 おおさか はやし 大須賀 林

12月議会での一般質問について

まず、ボートレース事業部について質問しました。ボートレースの健全な発展と地域貢献の一環として、今年度キッズパークを開園し、また来年度早期に開園をめざして、無料の市民向けコミュニティパーク「Gruun(グルーン)がまこおり」が建設中です。そんな中でボートに従事する職員による不祥事が9月及び11月に新聞報道されました。市民の信頼あつてのボートと自覚し、前に進んでいっていただきたいと思います。

次に、名鉄西尾・蒲郡線について質問しました。西尾線に比べ蒲郡線は1/3程の旅客量しかないようですが、この先も路線が存続していけるよう、力を合わせて必要性を訴え活動してまいります。



無所属

国道23号バイパス特別委員会
副委員長 あしかり じゅんな 芦刈 純奈

保育の課題解決に向けて

近年、低年齢児保育の需要が高まり待機児童のない本市においても待機児童が出る恐れがあり、受け入れ体制の強化、途中入園が課題となっています。本市は保育士人材確保と施設整備の促進(大塚、塩津地区で対応)を課題とし取り組んでいるとの回答が議会でありました。そして、低年齢児保育料の負担軽減も提案しました。また、今まであまり触れられなかった障がいのある子どもの保育についても課題として改善していくとのことです。ので、引き続き要望し続けていきます。

自由民主党蒲郡市議団・無所属の会

市政報告会

日時

2025年 2月8日(土)
15:30～17:00

会場

拾石町会館 ホール
(蒲郡市拾石町塩浜81)

申し込みは不要です。
当日は直接会場にお越しください。
多くの方のご参加をお待ちしております。

